Japan Geoscience Union Meeting 2010

(May 23-28 2010 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2009. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



GSC020-05

会場: 101

時間: 5月23日14:33-14:45

つくば発!市民と研究機関をむすぶ新しいネットワーク「ジオネットワークつくば」の構築

State-of-the-art Network from Tsukuba City - The foundation of Geonetwork Tsukuba

古川 竜太¹*, 宮川幸雄², 渡部芳夫¹, 中島一美¹¹, 新谷成正³, 八田珠郎⁴, 荒木 誠⁴, 神田久生³, 久田健一郎³, 玉谷雄太⁻, 長坂俊成⁶, 岩崎幸教¹⁰

Ryuta Furukawa^{1*}, Miyagawa Yukio², Watanabe Yoshio¹, Nakajima Kazumi¹¹, Araya Narimasa³, Hatta Tamao⁴, Araki Makoto⁴, Kanda Hisao⁹, Hisada Ken'ichiro⁸, Tamatani Yuta⁷, Nagasaka Toshinari⁶, iwasaki Yukinori¹⁰

¹産業技術総合研究所, ²土木研究所, ³農業・食品産業技術総合研究機構, ⁴森林総合研究所, ⁵国際農林水産業研究センター, ⁶防災科学技術研究所, ⁷国立環境研究所, ⁸筑波大学, ⁹つくば科学万博記念財団, ¹⁰つくばコミュニティ放送株式会社, ¹¹つくば市役所

「ジオネットワークつくば」は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域科学技術理解増進活動推進事業「地域ネットワーク支援」事業として、平成21年度から3年間の予定で行われる地域ネットワーク活動である。つくば市には、地球環境に関わりのある大学・研究機関・企業・環境NGOが数多くあり、これらの機関が互いに連携してアウトリーチ活動を行うことによって、つくば市が中心になって進めている地球環境の改善・保全意識の醸成が進むと考えられる。そのためには、人と機関のネットワークを構築することが重要である。現在は連携自治体のつくば市と提案・運営機関の産業技術総合研究所、参加機関として土木研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、森林総合研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、国立環境研究所、筑波大学、つくば科学万博記念財団、つくばコミュニティ放送株式会社(ラヂオつくば)であり、研究機関、高等教育機関、博物館、地域マスコミ、民間企業を「ジオ」をキーワードにして連携している。アウトリーチ活動としては、月に2回程度のサイエンスカフェ、地質や森林などの野外観察会、博物館での常設展示、特別日を設定してのフェスティバル、「ジオ」に関するコンテスト、教育イベントへの出展を行っている。今後は参加機関を増やすとともに、地域のリーダーを養成するためのジオマイスター制度の創設を予定している。この地域ネットワークの波及効果として、ジオパークや環境モデル都市があげられる。

キーワード:地域ネットワーク,生涯教育,地球環境,科学リテラシー,つくば

Keywords: Regional network, lifetime education, earth environment, science literacy, Tsukuba

¹Advanced Institute of Science and Techno, ²Public Works Research Institute,

³National Agriculture and Food Research O, ⁴Forestry and Forest Products Research In,

⁵Japan International Research Center for, ⁶National Research Institute for Earth Sc,

⁷National Institute for Environmental Stu, ⁸University of Tsukuba, ⁹Tsukuba Center for Institutes and Tsukub,

¹⁰Radio Tsukuba Co., Ltd, ¹¹Tsukuba City Office